

地域包括ちゅういしーじー講習会

(地域包括支援センター大名・なは定期巡回ステーション合同・支援者向け)

テーマ：『私のライフプラン ～ACPを学んで、私らしく生きるために～』

○日 時：令和7年6月11日(水) 午後6時00分～8時00分

○場 所：特別養護老人ホーム大名・友愛館

○参加者：34名

(地域包括支援センター大名圏域：24名、なは定期巡回ステーション圏域：10名)



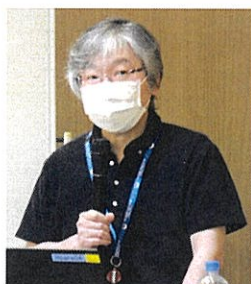
【目的】①支援者を対象に在宅医療・介護について学びを深めてもらい、多職種連携の構築を図る。

②気軽に参加できるカードゲームやグループワークを通して、ACPの重要性を認識してもらい、その実践を体験してもらう。

サマリー

参加者へ事前・事後アンケートを実施し回収率は約88%であった。アンケートではACPを行なうことの難しさについて参加者より、「本人・家族が死に対しての恐怖感があったり、理解が難しい方への対応が困難」「医師がACPについて話していない時に看護師側で切り出してもいいのか」「ご家族間でACPの意見が違っている場合」など現場で支援している方々の率直なご意見が聞かれた。しかし、人生の最終段階におけるご自身の価値観や希望について考えるきっかけになる「もしバナカードゲーム」体験やグループワークなど行なうことによって様々な専門職の視点や考え方、また「普段の何気ない会話の中から自然に聞き出していきたい」など、今後の関わり方について前向きな感想があり、ACPについて理解度が深まった講習会になったと思われる。ACPを社会に浸透させるためには、学校教育現場など若い世代から「もしバナカードゲーム」などを用いた実感的な学びも必要ではないかとの提案もあった。ちゅういしーじー那覇としても、誰もが「自分の最期」について考えるきっかけを持てる社会になり、その人らしい選択を、周囲が支えられる社会になるよう今後も地域に出向いてACP普及啓発活動を行なっていきたい。

医師
玉井修氏
『命しるべ』
について



緊急医療情報キットについて説明



グループワーク ① ACPを行なう上での現場の課題や悩みについて共有
② 1. ACPのタイミング、 2. 職種間での共有
3. 社会に浸透させる意義、 4. ACPの変化

もしバナカードゲーム体験

那覇市在宅医療・介護連携推進事業
地域包括
ちゅういしーじー講習会



地域包括ちゅういしーじー講習会（地域包括支援センター大名・なは定期巡回ステーション合同・支援者向け）アンケート結果

日時：令和7年6月11日（水） 18時00分～20時00分

場所：特別養護老人ホーム 大名・友愛館

参加者：34名

（地域包括支援センター大名圏域：24名、なは定期巡回ステーション圏域：10名）

参加者：34名

回答者：30名

回収率：88.2%

所属機関

※複数回答あり

所属機関	人数	割合
病院	1	3%
診療所	3	10%
薬局	0	0%
高齢者施設	2	7%
訪問系事業所	3	10%
通所系事業所	0	0%
居宅介護支援事業所	16	53%
地域包括支援センター	5	17%
行政	0	0%
その他	0	0%
総計	30	100%

職種の内訳

※複数回答あり

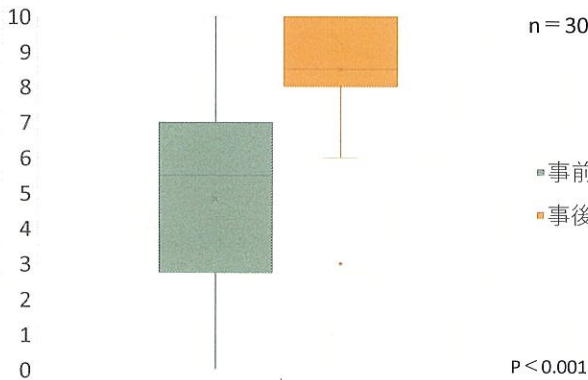
職種	人数	割合
医師	0	0%
歯科医師	0	0%
看護師	3	10%
保健師	1	3%
薬剤師	0	0%
栄養士	2	7%
MSW・PSW	0	0%
ケアマネジャー・ケアプランナー	18	60%
リハビリ	0	0%
社会福祉士	1	3%
介護職（ヘルパー等）	2	7%
その他	3	10%
総計	30	100%

経験年数について

経験年数	人数	割合
1年未満	2	7%
1～5年	6	20%
6～10年	8	27%
11～20年	11	37%
21～30年	2	7%
31年以上	0	0%
無回答	1	3%
総計	30	100%

1. ACPの理解度について

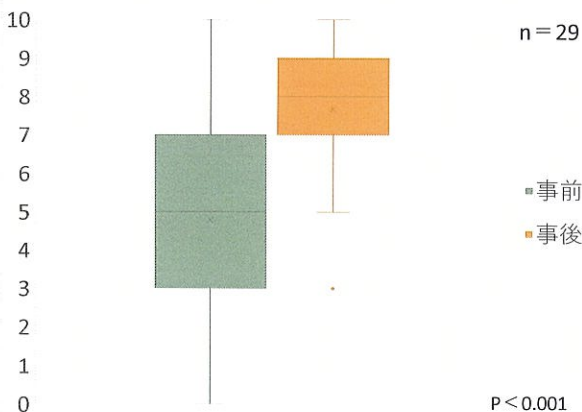
《事後コメント》



- ・以前よりも大変理解できました。
- ・日頃から意識しようと思いました。
- ・日頃から肩肘張らず、軽いおしゃべりの中で聞いていこうと思った。
- ・普段から、自分から想いを発していくことや、会話の中で意識するとACPが良くなりそうで、ACPの大切さを理解できた。

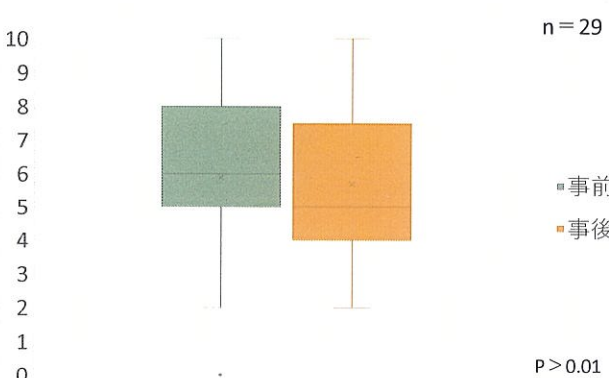
2. ACPを意識した支援について

《事後コメント》



- ・意識して声掛けや支援をしていきたい。
- ・一般的な会話として切り出せると思います。
- ・重度の方を担当しているので、ACPを意識して支援していきたい。
- ・タイミングで話せる機会を持つ。
- ・普段の会話の中に少しずつACPを入れていく。
- ・本日の講義にてACPについて理解できたので、今後は意識しながら支援が出来ると思う。

3. ACPを行なうことに難しさを感じるかについて



	変数 1	変数 2
平均	5.896551724	5.689655172
分散	7.238916256	5.221674877
観測数	29	29
ピアソン相関	0.157243223	
仮説平均との差異	0	
自由度	28	
t	0.343398196	
P(T<=t) 片側	0.366932034	
t境界値 片側	1.701130934	
P(T<=t) 両側	0.733864069	
t境界値 両側	2.048407142	

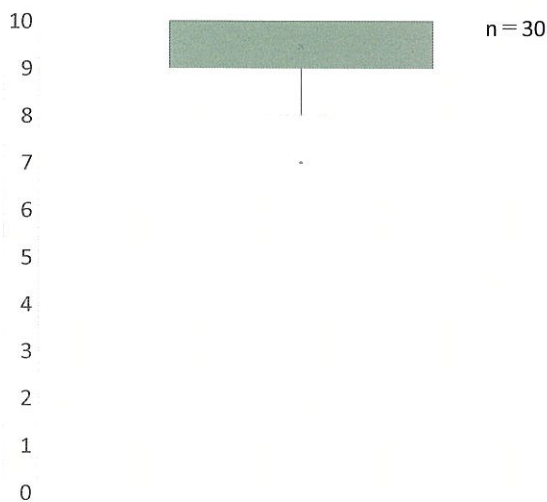
《事前コメント》

- ・ACPを伺うタイミングがつかめない。
- ・医師が話していない場合、看護師で切り出していいのか。
- ・お元気な時に、本人・家族の思いを聞くことが難しい。本人と家族の思いの相違のすり合わせが必要である。
- ・経験が少ないため、ACPに難しさを感じる。
- ・思いをすり合わせることが難しいと感じる。
- ・本人・家族が死に対しての恐怖感があったり、理解が難しい方への対応は困難。しかし、信頼関係が構築でき、表情で会話することができてくれば、ACPを行なうことは可能と考える。

《事後コメント》

- ・ ACP の話を切り出すタイミングが難しい。
- ・ いろんな多職種の視点を知ることが出来たが、まだ難しさはある。
- ・ 家族間で ACP の意見が違っている場合は難しい。
- ・ 固く考えず、軽い気持ちオブラートに話をしてみると、話しやすかったです。
- ・ ACP について、どのように説明したら良いのか分からない。
- ・ 人生会議について、認識がまだまだない方が多いのでどう切り出して良いのか分からない。
- ・ 信頼関係を構築していくとできると思うが、段階を経て行なっていきたい。

4. ACPを理解するうえでグループワークは参考になったか

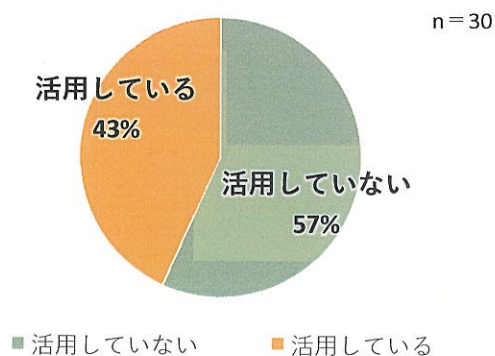


《事後コメント》

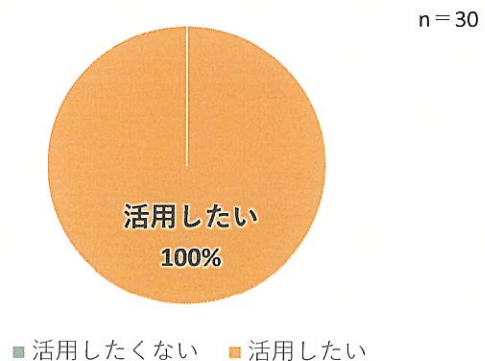
- ・ グループワークを通して、色々な意見や視点が学べて、参考になった。
- ・ 他職種で情報共有の場がもてて参考になった。
- ・ 違う職種と話すことによって、学びになりました。ありがとうございました。
- ・ ACP のタイミングについて「何か不安なことはない？」と広い質問からの絞れる。少しずつ確認していこうと思った。

5. 緊急医療情報キットの活用について

《事前》



《事後》

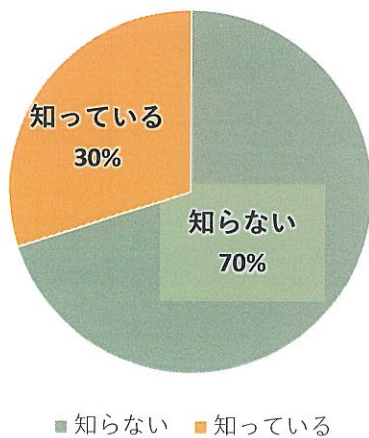


《事後コメント》

- ・ 緊急搬送の場合、スムーズに対応できると思うため活用していきたい。
- ・ 緊急医療情報キットについて良く分からなかったが、説明を通して理解できたので、活用したい。ケアマネへ共有していきたい。
- ・ 近くにご家族は居るが、独居の方に対しては必要であり、活用できる。

6. もしバナゲームについて

《事前》



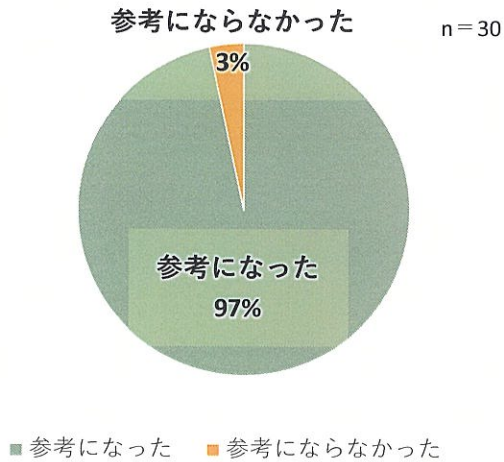
《事後コメント》

n=30

- ・色々な思い・考えがあって面白いと感じました。
- ・カードの題目に沿って自分がどう思っているかについて知ることが出来た。
- ・考える機会が出来て良い時間でした。
- ・ゲームだと難しく考えずにできそう。気づかなかった気持ちも見つけられるかも。
- ・自己覚知が出来た気がする。私自身で考えている人生の最終段階がそこまで深くなかった。
- ・自身の生き方を改めて振り返ることが出来た。

- ・以前にカードゲームをした時とは違うカードでの結果になりましたが、楽しく人生を歩もうと思いました。
- ・他の方の意見も参考になり、受け入れることもでき、"人それぞれ違っていいね"と思えました。
- ・死生観について考えさせられた。
- ・死生観に繋がり、意識することが出来る。
- ・自分が大切にしていることを客観的に知ることが出来た。
- ・自分が気付いていない気持ちを確認できた。
- ・自分自身で気づかない部分が見れたような気がする。
- ・自分の生き方、これからどうしていきたいかを考えるきっかけになった。
- ・他の方の考え方や視点も知ることが出来て、とても面白かった。
- ・自分の価値観を考える・知るきっかけになった。
- ・自分の考え・意思決定を行なうことが出来た。自分のことが知れて安心しました。
- ・自分の気持ちに気づけた。
- ・自分の気持ちにも気付かされたが、現場でも利用者の話をしていることのほとんどは真相にたどり着けていないのではないかと改めて、お話を聞いていく事の大切さを学びました。
- ・自分の大切にしている価値観を改めて感じる機会になりました。
- ・死を意識した時に何を優先するのかが分かりました。
- ・楽しかったので、小学生の授業に取り入れるのも良い考えだと感じました。
- ・楽しく参加でき、他の場でも活用できる。
- ・とても楽しく参加できた。友人・職場・家族ともやってみたい。
- ・とても良かった。自分の中にある自分らしさ、選択する力！！ヒントが見えました。
- ・なるほど…次はもっとスムーズにできるかも。
- ・初めて参加しましたが、自分自身の考えを見直す機会になりました。
- ・一つ一つのカードの内容が具体的で、ACPのイメージが付きやすかった。
- ・普段考えないACPを自分に当てて考えられて参考になった。

7. 講習会を終えて



《事後コメント》

- ・ A C P に対する理解を深められた。
- ・ A C P の考え方が変わった。重い内容だと思って聞きずらいと思っていたが、日頃の訪問でも本人の希望する生活が分かってくるような気がします。学校で話すことも出来たらいいと思います。
- ・ A C P の導入や今後の変化について意見が聞けて良かったです。
- ・ 色々な方の意見が聞けて参考になりました。ありがとうございました。

- ・ グループワークを通して様々な意見が聞けてとても良かったです。自分自身にとって、とても学びになりました。ありがとうございました。
- ・ 人生会議について深く考えさせられた。
- ・ 楽しく参加できた。
- ・ 玉井先生お忙しい中、大変貴重な講習会ありがとうございました。A C P を周知させていきたいです。
- ・ 今後、役立てていきたいと思います。家族にも、本人の意志を尊重することの大切さを伝えていきたい。
- ・ 宮崎亦保の言葉、大変勉強になった。なるほどです。
- ・ あくまでも本人の意志を確認するため、A C P へ誘導してはいけないと思った。人の気持ちは変化する。
- ・ 利用者や家族との関わり方について、A C P を意識しながら想いを拾いあげていきたいと思いました。
- ・ 私は、A C P について理解していなかったのですが、今回のお話で理解することが出来ました。利用者さんもそうですが、自分の家族の間でも活用したいです。